1 施設の概要等

施		設		名	府中市多機能拠点	施設(注	首の駅びんご府 「	中)	
所	在 地			地	存中市府川町230番地1				
設	置		目			売等を		共するとともに、地域の情報の発信及び の交流の促進及び産業の振興に寄与す	
施	設	•	設	備	道の駅				
指	定	管	理	者	R4.4.1	~	R9.3.31	株式会社天満屋ストア	

2 施設利用状況

	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値 (達成 ^図		
	R4	173,000 人	145,570 人	1,236 人	-27 , 430 人	84.1	%
利用状況	R5	182,000 人	151,585 人	6,015 人	-30 , 415 人	83.3	%
	R6	人	人	人	人		%
	R7	人	人	人	人		%
	R8	人	人	人	人		%
増減理由	コロナによる影響 取り組む。	が低下し、客数自体は前年	と比較し増加しているが	が、目標値には未だ遠く	及んでいない。今後も更	更なる集客策に	5

3 利用者ニーズの把握と対応

	【実施方法】	【対象·人数】
	所定のアンケート用紙に記載していただく	10代~60代以上の男女を対象、90件
調査実施		
内至突爬	【主な意見】	【その対応状況】
13 11	①休業日をなくしてほしい。	①ありがたい意見ではあるが、産直出荷者の休業日も必要で あるなどの理由がある旨を回答。

4 市の業務点検等の状況

	項目					実績	備考			
						0				
報台	吉書	月報				0				
		日報(必要随時)				×	必要なかったため。			
管	理	運営会議		【特	記事項等】					
12	□					要な修繕について計画し、R6年度の実施に向けて予算の確保ができた。 年度以降も必要性について協議し、計画的な修繕を行っていく。				
現	現地		直 調 査【技		【指	【指定管理者の意見】				
(実	施月)])	・引き続き報告と意見交換協議を実施。					
1月	2月	3月	4月	5月						
0	0	0	0	0	【市	iの対応】				
6月	7月			・労働条件チェック(R5年4月27日)						
0	0	0	0		-・道の駅定例会、産直連絡会(毎月1回開催) -公共建築賞優秀賞受賞(R5年6月)					
11月	12月									
0	0									

5 市委託料の状況

(単位:千円)

- 11- A RUTT	- 1/1/10		(1 🖾 113)				
	年度	金額	対前年度増減		年度	金額	対前年度増減
	R4	14,500	-1,096	料金収入	R4	1,089	-763
市委託料	R5	14,500	0		R5	888	-201
(決算額)	R6			(決算額)	R6		
	R7				R7		
	R8				R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

	1.7	工具。小八八			(十四,111)	
		項目	R4決算額	R5決算額	対前年度比	主な増減理由等
		市委託料	14,500	14,500	0	
	収	料金収入	1,089	888	-201	開催イベント減による減収
	入	その他収入	5	5	0	
		計 (A)	15,594	15,393	-201	
_		人 件 費	2,330	2,554	224	
委		光 熱 水 費	5,489	6,061	572	
主		設備等保守点検費	424	322	-102	
委託事業	支	清 掃・警 備 費 等	5,197	4,826	-371	レストラン棟ワックス掛け1回減
214	出	施設維持修繕費	449	885	436	
		事務局費	5,004	5,733	729	
		その他支出	1,457	2,172	715	イベントなど販促費 728千円
		計(B)	20,350	22,553	2,203	
		収支①(A-B)	-4,756	-7,160	-2,404	
自	収 入 (C) 支 出 (D)		26,325	27,973	1,648	産直市好調に付き、販売手数料増
自主事業			16,374	15,176	-1,198	座巨中対 調に当せ、敗冗士数料項
業	業 収支②(C-D)		9,951	12,797	2,846	
合計	収	支(①+②)	5,195	5,637	442	

※1 利用料金制 公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。 指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業 指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
	施設運営においては、利用者の方達が気持ちよく利用頂けることを念頭に、全従業員が業務に取り組んだ。特に、施設全体の3/4の売上を占める産直市においては、出荷者の方達が能動的に、且つ主体的に出品頂けるよう対応した。 結果として、お客様からは『安くて新鮮』という評価を頂き、産直市の売上高が前年比108.3%という伸びを示す事が出来た。	・施設の維持管理については適切に行っていただけている。 ・道の駅利用者、出荷者、出品者、道の駅従業員、レストラン事業者など、意見を積極的に聞き入れ、前向きな改善に取り組んでいただけており、それが売上増にもつながっていると考える。 ・特に産直については営農研修会を行うなど、出荷者のために精力的な取り組みを行うことで、出品数や出荷量の増加につながっており、それが産直の売り上げ増に繋がっていると考えられる。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目		市
課題と対応	ンス・修繕計画を行う。③利用客の利便性を更に追及	市・特産品コーナーについてのてこ入れは、引き続き検討実施していただきたい。・短期的・中長期的な修繕について、引き続き協議の上計画的に実施してまいりたい。